



【活動エリア】

氷見市柳田地区全体

【受入先】

柳田地域づくり協議会

【受入先の説明】

柳田地区は氷見市の南東部にあり、小規模ながら豊かな田畑、松田江の長浜、緑あふれる布尾山古墳を含む丘陵など自然に恵まれています。

令和4年2月に発足した柳田地域づくり協議会は、住民の安心・安全の確保、柳田地域の活性化の一層の推進を目的として設置され、環境保全部会、安心安全部会など5部会に分かれて活動しています。

【受入先の現状と課題】

柳田地域づくり協議会では、畑作農業を核とした活性化に取り組みたいと考えているのですが、どのような方向に向かえばいいか地元住民だけでは方向性が見えない部分があることが悩みです。現在はねぎ栽培が主流となっていますが、ねぎ以外の新たな作物栽培とそこから派生した6次産業化や地域活性化の可能性を探りたいと考えています。

そこで、協力隊の方には、多品目栽培の可能性や、楽しい（やりがいがある）農業の実践、販路拡大の試行などについて地域の若手農家と連携しながら研究、情報収集、実践を行っていただきたいと考えています。

また、地域づくり協議会の他の取組み、特に地域住民交流の場づくりや子ども向けイベントの実

施にも協力いただきたいと思います。その活動を通じ、畑作農業の活性化に向けた協力者を増やして欲しいと考えています。



海岸線の清掃活動の様子



柳田地区の納涼祭の様子

【主な任務】

- ・畑地農業の新たな可能性の研究、楽しい（やりがいがある）農業の実践
- ・6次産業化等による地域活性化策の検討
- ・地域づくり協議会における地域活性化活動への協力（特に、地域住民の交流の場づくりや子ども向けイベント実施など）

【3年間の活動イメージ】

1年目

- ・ねぎ作りを中心に栽培技術の基本を学ぶ
- ・収益化の可能性がある作物をリサーチ・試作
- ・地域づくり協議会のイベントに協力し、地域住民との関係づくり

2年目

- ・1年目に見つけた作物の本格栽培実行
- ・6次産業化などの収益化向上に向けた計画策定
- ・地域イベントや農業体験などを通じた、地域活性化の協力者づくり

3年目

- ・継続して収益を上げられる作物の栽培ルーティン確立
- ・6次産業化などの収益化向上への展開準備、試行
- ・地域イベントや農業体験などを通じた、地域活性化の協力者づくり

【3年後までに達成してほしい目標】

- ・継続してその後も農業を続けられるような、収益化が可能な作物やその6次産業化の方針が見つけられていること。
- ・地区で一緒に地域活性化に取り組んでくれる協力者が増えていること。

【任期終了後のイメージ】

- ・新たな農業従事者として地域に定着してもらいつつ、直売所等の新たな取組みにチャレンジしてもらいたい。
- ・副収入として、柳田地域づくり協議会等の地域での事務に従事してもらうことも想定。

【1週間の活動イメージ（初年度）】

月	ねぎの栽培（収穫、皮むき作業、畑の整備など）、1週間のスケジュール調整
火	ねぎの栽培 市内の他品目栽培農家見学
水	ねぎの栽培 市内の他品目栽培農家見学
木	ねぎの栽培 収益化に向けた事例調査
金	ねぎの栽培 地域づくり協議会メンバーとイベント打ち合わせ
土	休み
日	休み

※初年度は、農業の基本を学ぶためにねぎ栽培からスタートする予定ですが、並行して新たな栽培作物の可能性も探っていただきます。

【1日の流れ（例）】

8：00～12：00 ねぎ畑管理（土寄せなど）

12:00～13：00 休憩

13：00～14：30 市内の多品種栽培農家の見学

14：30～15：30 地域づくり協議会のメンバーと打ち合わせ

15：30～16：30 地域のイベントに向けた準備

※天候等により、早朝から作業することもあります。

【求める人物像】

能力・性格

- ・農業に興味がある方
- ・地域の皆さんと積極的にコミュニケーションを取れる方

経験・資格

- ・経験不問ですが、チャレンジする内容によって、下記の資格を取得していく可能性があります
食品衛生管理責任者（6次産業化に取り組む場合）
大型特殊免許資格（トラクター運転など）
チェンソー資格講習（畑で果樹栽培に取り組む場合）

【サポート体制】

- ・地域づくり協議会のメンバーがサポートいたします。特に会長の田中が打ち合わせや地域の紹介を行う予定です。
- ・農業の実践については、地区内若手ネギ農家の川渕がサポートいたします。

【押しポイント】

- ・過去に地区内に2名の協力隊の受入実績あり。協力隊に対する地区内の理解もあり、協力隊活動や生活面のフォローもしっかりと行います。
- ・地域でネギ以外の栽培（ひまわりやメロンなど）に取り組んだ経験もお伝えします。
- ・新しい農業に取り組みたい方の応募をお待ちしています。

【一緒に働く人からのメッセージ】

（柳田地域づくり協議会 田中会長）

柳田地区の農業の花形は「ネギ」ですが、「トウモロコシ」「サツマイモ」「ニンジン」等の品種が消費者の注目を浴び、生産者からも注目を集めつつあります。

今後の柳田地区の活性化のため、デマンドバスの検討、柳田海水浴場の設置とキャンプ場の拡大等、様々なことに取り組みたいと思っておりますが、特に協力隊員の方とは、ネギ以外の可能性の探求、そして、その先にある6次産業化（ベジレストラン）や市民農園の開設などによる地域活性化について一緒に模索していきたいと思っております。

（地区の若手農家 川渕さん）

柳田・窪地区で2024年から農業経営を始めた川渕です。2020年の春からこの地域で農業に携わり、経験を積んできました。白ネギを中心に、スイートコーンや大根、カブなどを栽培しています。

柳田地区は白ネギや春大根が主力品目ですが、その白ネギも近年の気候変動で周年栽培が難しくなり、特に8～10月の出荷量が減りつつあります。

また、高齢化と後継者不足で、畑地においても耕作放棄地が目立つようになってきています。

そんな中、野菜や花などの園芸品目の農家として、儲かる農業を目指しつつ、地域の畑を畑のまま未来へ繋ぐことが私の目標です。

農業は、人間の力の及ばない自然を相手にする、とても大変な仕事です。しかし、人々が生きていく上で必要な食料を生産する職業でもあり、やりがいと楽しさのある仕事です。

また、お客さんに「美味しかった」と喜んでもらえたり、地主さんから「畑を預けたい」と声をかけてもらえたり、人との繋がりも感じられる仕事です。

一緒にこの地域の農業を盛り上げるために、新しい可能性を探りませんか？



ひまわり畑のイベントへの地元参加者



ネギの作業に従事する地元農家さん

【参考】

若手農家川淵さんの紹介記事（農業をはじめ.jp）

<https://www.be-farmer.jp/story/news/detail/1595/>